学校案内 2017

大阪星光学院

〒543-0061 大阪市天王寺区伶人町1-6　Tel. 06(6771)0737

http://www.osakaseiko.ac.jp/

OSAKA SEIKO GAKUIN



ASSISTENZA

大阪星光学院









A S S I S T E N Z A

あなたがたは世の光である。
あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。

マタイ福音書5章14・16節

大阪星光学院は、「世の光であれ」を校訓としています。
「世の光」とは、灯台のように社会を照らして多数の進むべき道を示す人物であり、あるいは、電灯のように周囲に光を放って人々の希望となる人物であり、あるいはまた、ろうそくの灯のごとくほのかながらもひとりの人から頼りにされる人物のことです。
大阪星光学院は、「世の光」になろうとする若い人を求めます。そして、若者たちにあたたかいまなざしをもって寄り添い、アッシステンツァ（ともにいること）を通じて、まずその心に愛の光を灯したいと願っています。
成長期にある若者の知性を高め、意志を強め、心を豊かにすることにより、この学院からさまざまな「世の光」が巣立ってゆき、多くの分野で社会に貢献することを念願しています。

アッシステンツァ〈assistenza〉は「ともにいること」を意味するイタリア語。
本学院の母体であるカトリック修道会「サレジオ会」の教育理念です。

沿革

1859年　ヨハネ・ボスコがサレジオ会を創立

1926年　９名のサレジオ会員が宣教活動のために来日
　　この会員の中に学院創立者マルジャリア神父がいた

1949年　マルジャリア神父が来阪

1950年　大阪星光学院創立
　　初代校長にマルジャリア神父が就任

1958年　講堂・修道院落成
　　校歌「星のしるべ」制定

1964年　体育館落成

1968年　聖トマス小崎研修館、黒姫星光山荘落成
　　山荘での夏期・冬期行事始まる

1969年　同窓会発足

1970年　生徒協議会発足
　　第１回スクールフェア（文化祭）開催

1973年　南部学舎落成。翌年より南部特別授業始まる

1980年　玉造聖マリア大聖堂にて創立30周年感謝ミサ挙行

1983年　浮瀬俳跡蕉蕉園開園式挙行

1990年　玉造聖マリア大聖堂にて創立40周年感謝ミサ挙行

2000年　創立50周年記念誌『星のしるべ』刊行

2007年　新校舎第１期工事完了

2008年　新校舎第２期工事完了

2009年　新校舎竣工記念ミサ挙行









世界に広がるサレジオ会の活動

ドン・ボスコは1859年、自身が深く敬愛する「慈愛と柔和の聖人」聖フランシスコ・サレジオの名を冠して「サレジオ会」という修道会を創立し、青少年の教育事業を進めました。その志は連綿と受け継がれ、現在、世界138か国で約2500校がサレジオ会によって運営され、ドン・ボスコの理念に基づく教育活動をおこなっています。



大阪星光学院のあゆみ

大阪星光学院は1950年、戦争の傷跡がまだ残る上町台地・夕陽丘の地で産声をあげました。
創立者のアンジェロ・マルジャリア神父は、1926年の来日以来、大阪にサレジオ会の学校をつくることを夢みていました。戦時中の苦難を乗りこえ、マルジャリア神父は戦後アメリカに渡り、開校の計画とその意義とを訴えてまわり、各地で人々から多くの寄付を得ました。
マルジャリア神父の熱意と、それに共鳴した人々の志に支えられて、大阪星光学院は誕生しました。



来日後まもない頃のマルジャリア神父（２列目左から２番目）

サレジオ会の創立者　聖ヨハネ・ボスコ



聖ヨハネ・ボスコは1815年、北イタリアの貧しい農家に生まれ、苦学の末に司祭となりました。そのころのイタリアでは、産業革命が波及する中で、都会に流入した青少年の多くが悲惨な生活を強いられていました。そんな青少年らのために身を捧げることを決意したヨハネ・ボスコは、さっそく「オラトリオ（祈りの家）」という教育事業を開始し、その後、多数の協働者たちを得てサレジオ会を設立し、青少年の教育に生涯を捧げました。
サレジオ会の教育施設では、当時の禁圧的な教育にかわるものとしてヨハネ・ボスコが提唱した教育理念「アッシステンツァ」が実践されました。この新しい理念のもと、多くの青少年に寄り添い、彼らを励まし、そして導いたヨハネ・ボスコは、のちにローマ教皇によって聖人に列せられました。
聖ヨハネ・ボスコは、その教えを受け継ごうとしているサレジアン・ファミリーの人たちから親愛の情をこめて「ドン・ボスコ」と呼ばれています。



「おあずかりした生徒には
キリスト教精神と自由、平和の思想を
植えつけたいと思っています」
―― 初代校長アンジェロ・マルジャリア神父

光に向かって歩もう

第10代学校長　カトリック・サレジオ修道会司祭
鈴木 英史

大阪星光学院は、カトリック・サレジオ修道会の学校（サレジアン・スクール）として、生徒たちに「喜びの心をもつ」ということを強調しています。これはサレジオ修道会の創立者、聖ヨハネ・ボスコが常に提唱していたことです。心に喜びがあるときに私たちは幸せになれます。心に喜びがあるときには、私たちは人生において悪いものをしりぞけ、人間として正しい道を歩むことができるようになります。
本学院は合宿の多い学校です。合宿は教師と生徒が共に生活し、お互いの心を交流させる喜び、また自然とふれあう喜びを体験する場です。本学院は、このような喜びの体験を通して、生徒たちが他の人に喜ばしい光をもたらすような人間に成長することを目標としています。そして進学の成果だけでなく、よりよい心の教育をめざして日々努力しています。人生の基礎作りの時期ともいえる中学・高校時代を過ごす学校を選ぶ際に、ぜひ大阪星光学院のことを心にとめていただきたいと思います。

教育理念

「愛なくして信頼なく、信頼なくして教育はない」

ドン・ボスコ

生徒と教職員が多くの時間をともに過ごし、
じっくりと信頼関係を深めていきます

信頼と相互理解をつちかう

アッシステンツァ（ともにいること）

「アッシステンツァ」は、サレジオ会の学校の大切なアイデンティティです。
本校の生徒と教職員は、ふだんの学校生活はもちろん、南部学舎や黒姫星光山荘、聖トマス小崎研修館などでの合宿生活（中学・高校６年間で約60泊）を通じ、非常に多くの時間をともに過ごします。その中で、教職員は生徒たちが望むこと、大切にしていることを知り、生徒たちはおおらかに見守られていることを感じ、お互いの信頼と理解を深めていきます。

キリスト教精神に基づく

徳育の重視

司祭らによる朝礼時の全校放送や「倫理」の授業、合宿でのボナ・ノッテ〈Buona notte〉と呼ばれる夜の集いなどを通して、生徒たちは愛と奉仕の精神を学びます。他者への深い思いやりをもち、社会のために奉仕する人間を育成することが、本校の創立以来のミッションです。

深い人間関係と高度な学力を育みながら未来を志向する

6ヵ年一貫教育と「よき社会人」の育成

心もからだも大きく成長する６年間を、信頼と喜びの雰囲気の中でともに過ごすことによって、
互いの存在を認め合う深い人間関係が築かれます。
学習面では、６年間を総合的に見通して精選された効果的なカリキュラムが編成され、知性に磨きがかけられます。
大阪星光学院で過ごす６年間を通して、やがて社会に出てともに生きる人々のために、
寛大に、そして誠実に生きられる人格の形成を目指します。

第1期（中学1年・2年）
基本的な生活習慣を確立したうえで、しっかりとした基礎学力の充実を図ります。それとともに、多様な価値観を受け容れるおおらかな心を養います。

第2期（中学3年・高校1年）
関心領域を広げながら、教科の枠を超えて知識を関連づけ、体系化する力を養います。将来についてじっくり考え、自己の適性の発見に努めます。

第3期（高校2年・3年）
理系・文系に分かれ、各自の進路目標の実現に向けて学力のさらなる充実を図るとともに、社会における自己の役割についての考えを深めます。

〈世の光〉
家族・社会・世界の中で
生きる喜びを
分かち合う人

実り多い一日へ












この空間が
ここに流れる時間が
生徒の「知・徳・体」を磨きます





学院の一日のはじまりは「朝の放送」。朝礼時に司祭らが全校放送で生徒に語りかけ、実り多い一日へと導きます。各科の授業は、もちろん大阪星光学院での学びの基本。頭と心と体のアンテナを研ぎ澄まし、先生から、そしてクラスメイトからも、多くのことを吸収します。授業の後のクラブ活動では、頼れる先輩が後輩たちを励まし、リードします。
生徒たちの学校生活のさまざまな側面を、生徒指導の先生、保健室や図書館の先生、そしてスクールカウンセラーの先生が、おおらかな心で見守り、サポートしてくれます。
大阪星光学院は、あたたかく、のびやかで、どこかなつかしい学びの場でありたいと願っています。

＞＞＞ 学院の１日

ショートホームルーム	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	ロングホームルーム（金曜日）
8:35	8:45 ▼ 9:35	9:45 ▼ 10:35	10:45 ▼ 11:35	11:45 ▼ 12:30（中学） 12:40（高校）	1:15 ▼ 2:05	2:15 ▼ 3:05	3:10 ▼ 4:00

※土曜日は４時限まで
※高校では７時限目授業を行う曜日があります











聖トマス小崎研修館

中学の校舎に隣接して聖トマス小崎研修館があります。
中１生たちは４月から９月にかけて、30名ほどのグループごとにここで一週間の共同生活をおくり、司祭や先生から大阪星光学院での生活の基本を教わります。１日約３時間半の自習時間の中で、授業の予習・復習を徹底する学校中心の学習習慣を身につけ、食事の配膳や掃除を通じて個人の責任を自覚し、自主・自立の精神を学びます。
感謝と祈りの時間を経験した新しい星光生たちは、ここから「世の光」に向けての道を歩み始めます。

※聖トマス小崎は、1597年に長崎で殉教した「日本二十六聖人」の一人。深い信仰と強い意志を備えた少年であった。





「君たちが若者というだけで、わたしは君たちを熱愛する」―― ドン・ボスコ

「アッシステンツァ」を体現する場

「野外活動を目的とするものであれ、学習を目的とするものであれ、星光は初めから
合宿を好む体質を持っていた。合宿は教育的に素晴らしいことだという考えが
伝統としてあった。汗を流し体力を消耗する合宿は決してスマートなものではない。
しかしこれが星光のカラーだ」―― 第6代校長 都成日出人神父

和歌山県のみなべ町に位置する南部学舎。
目の前にはウミガメの産卵で有名な「千里の浜」がつづき、
近辺には熊野詣に関係する神社や史跡が数多くあります。
収容人数は200人を超え、1学年全員が同時に生活をともにすることができます。
四つの教室のほかに家庭科調理実習室があり、学舎の前には芝生のグラウンドが広がります。

南部学舎



好奇心を育み、探究心を養う
――ここでしか得られない貴重な体験

中学の「南部特別授業」では、磯の生物調査や、手作りの望遠鏡を用いた星空観察、浜辺での詩作・スケッチ、周辺の農園の見学など、恵まれた環境を生かした多彩な学びのプログラムを体験。長期休暇中の勉強合宿では、密度の高い学習によって学力を大きく伸ばすことをめざします。





家庭科の調理実習



学舎の風呂掃除



磯での生物実習



浜辺での写生

美術作品

生徒が描いた
「千里の浜」













長野県信濃町は俳人小林一茶生誕の地。その旧宅にほど近い森の中に、
敷地面積23,000㎡の黒姫星光山荘があります。
中学生の夏期合宿では、登山のほかにキャンプファイアーや飯盒炊さんなどを楽しみ、
冬期の合宿では、先生の指導のもとスキーの技を磨きます。
また、信濃町の協力により、現地の農家などでの農村生活体験の機会も得て、
星光生は都会では経験できない貴重な時間を過ごします。

黒姫星光山荘









仲間たちとともに鍛錬し
たくましく、大きく成長

季節によってすっかり容貌を変える黒姫高原の大自然――。中学生たちは、夏は登山やハイキング、冬はスキーを通じてそれを満喫します。登山もスキーも、先生やＯＢが寄り添い、丁寧に指導します。夏休み中の勉強合宿では、高原の涼気の中で勉強に集中します。





生徒による食事の配膳



夏の登山合宿



冬のスキー教室



山荘前庭でのキャンプファイアー

美術作品

生徒が描いた
「黒姫高原」

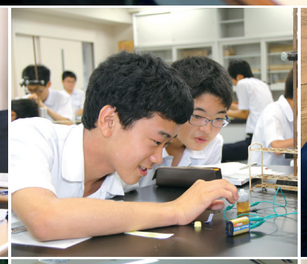




着実に伸ばす



















生徒一人ひとりの「学ぶ意欲」を刺激するこまやかで多彩な学習指導







2008年に完成した本校新校舎には、各科の実験室や特別教室だけでなく、進路指導や面談のための特別室、生徒の質問に先生たちが対応するためのスペースなどが豊富に設けられています。
これらの設備を活用し、生徒たちの「学ぶ意欲」を刺激する新鮮な授業を工夫するとともに、中学ではこまめに学習の定着度を確認しながら、また高校では生徒の進路希望に合わせた少人数の選択授業も取り入れながら、こまやかに学習指導を進めています。
一方で、校外のさまざまなコンテストに参加して他校の生徒たちと切磋琢磨することも奨励しています。例年本校が第一次選考の会場となっている「化学グランプリ」をはじめ、「物理オリンピック」や「数学オリンピック」、俳句や作文、クイズなどのコンテストを通じ、生徒たちは高度で幅広い学びへの意欲を高めていきます。
「アッシステンツァ」を通して生徒の現状を把握した先生たちが、生徒一人ひとりの変化に気を配り、柔軟な指導に努めています。

>>> 週 あたりの授業時間

［中学校］

	国語	社会	数学	理科	芸術	保体	技家	英語	道徳
1年	6	4	6	4	2	3	2	6	1
2年	6	4	6	4	2	3	2	6	1
3年	6	4	6	4	2	3	1	6	1

［高等学校］

	国語	地歴	公民	数学	理科	保体	芸術	外国語	家庭	情報
1年	6	4	1	6	6	3	2	6	2	1
2年	6	文6 理3	2	6	文3 理6	3		6		1
3年	文8 理6	文8 理4	1	文5 理7	文3 理7	3		6		

6年間見守りつづける担任団を中心に、生徒の希望を尊重して進路指導を行います

本校では、社会の諸分野で活躍なさっている方々の講演会を頻繁に催しています。合宿時の「夜の集い」では、ＯＢの大学生・大学院生から、研究や就職についての話も聞きます。中学生のときから自分の将来について思いを巡らせ、多様な選択肢の中から進むべき道を各自が自主的に選び取る――そのサポートを、生徒に寄り添いつづける担任団が中心となってすすめていきます。

国公立大学

年度	2017年度			2016年度			2015年度		
現卒別	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
東京大	7	3	10	10	3	13	13	5	18
京都大	23	9	32	37	21	58	39	15	54
大阪大	11	9	20	16	12	28	14	8	22
神戸大	5	6	11	8	5	13	10	6	16
北海道大	1		1	2		2		2	2
東北大	1	2	3		1	1	1		1
九州大		1	1	1		1		1	1
東京工業大	1	1	2					1	1
一橋大	4	1	5	2		2			
大阪市立大	7	7	14	3	2	5	8	7	15
大阪府立大	5	5	10	5	6	11	6	5	11
京都府立医科大		3	3	2	3	5		2	2
奈良県立医科大	3	3	6	2	2	4	2	5	7
和歌山県立医科大	2	2	4	2	3	5	1	1	2
その他国公立大	15	8	23	14	15	29	16	26	42
合計	85	60	145	104	73	177	110	84	194

私立大学

年度	2017年度			2016年度			2015年度		
現卒別	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
早稲田大	2	8	10	8	19	27	5	19	24
慶應義塾大	3	9	12	11	15	26	8	12	20
同志社大	22	33	55	43	47	90	44	32	76
関西学院大	14	19	33	7	7	14	3	16	19
関西大	4	9	13	2	6	8	6	16	22
立命館大	4	32	36	6	27	33	5	33	38
大阪歯科大	3	11	14	5	8	13	5	13	18
関西医科大	2	8	10	2	7	9	3	4	7
その他私立大	38	49	87	16	51	67	26	61	87
合計	92	178	270	100	187	287	105	206	311

大学合格状況

年度	2017年度			2016年度			2015年度		
卒業生数	186			194			207		
現卒別	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
国立大学	66（10）	40（9）	106（19）	85（10）	55（11）	140（21）	90（14）	60（17）	150（31）
公立大学	19（10）	20（13）	39（23）	19（7）	18（10）	37（17）	20（8）	24（13）	44（21）
私立大学	92（9）	178（32）	270（41）	100（13）	187（30）	287（43）	105（17）	206（42）	311（59）
合計	177（29）	238（54）	415（83）	204（30）	260（51）	464（81）	215（39）	290（72）	505（111）

※（）内の数字は医学科合格者数　私立大学の合格者数は延べ人数（含 文部科学省管轄外大学校）
2017年4月30日現在

社会に、そして世界に目を開かせる刺激にみちた体験

多彩な学校行事は、大阪星光学院の全人教育を支える大切な柱です。
毎年「文化の日」に開催されるスクールフェア（文化祭）や、体育大会・球技大会では、生徒たちが積極的に運営に参加します。各種の講演会や芸術鑑賞会ではプロフェッショナルの世界を垣間見て、「ドン・ボスコの集い」やクリスマス会では華やいだ祝祭の空気に身を委ねる――。南部学舎・黒姫星光山荘での合宿とともに、バラエティに富んだ年間行事が学校生活にうるおいを与えています。



4月 April
入学式（中学・高校）
オリエンテーション（高１）
南部特別授業（中３）

5月 May
人権教育映画鑑賞
遠足（中１・中２）
創立記念日

6月 June
体育大会（中学・高校合同）
芸術鑑賞
修学旅行（高２）

7月 July
南部特別授業（高１）
プール教室（中１）
山荘合宿（中１・中２）
南部合宿（高２）

8月 August
山荘合宿（中１・中２・高１）
立山登山旅行（中３）
南部合宿（中３・高３）

9月 September
人権週間
ソフトボール大会
（生徒協議会主催）
南部特別授業（中２）

10月 October
南部特別授業（中１）

11月 November
スクールフェア（文化祭）

12月 December
クリスマス会（中１）
黒姫山荘スキー教室（中２）

1月 January
黒姫山荘スキー教室（中２）
ドン・ボスコの集い

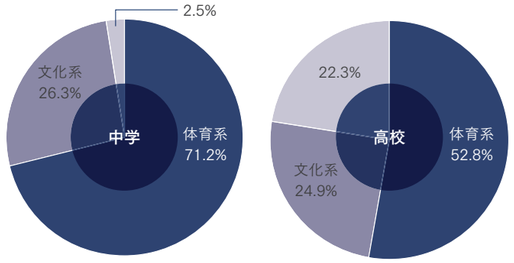
2月 February
卒業式（高校）
サッカー大会
（生徒協議会主催）
英語暗唱大会

3月 March
黒姫山荘スキー教室（中１）
卒業式（中学）
新高１南部合宿
オーストラリア語学研修

共通の目標に向かって努力することで生まれる絆

学年の枠を超えて協力し切磋琢磨するクラブ活動は、学校生活の重要な要素です。
同じ目標に向かって励まし合い、ともに努力するという経験は、生徒たちの社会性を高め、人間としての成長に大きな刺激を与えてくれます。現在、本校では体育系11、文化系20のクラブ（同好会）があり、中学では約９割以上、高校では約８割の生徒が参加しています。

クラブ活動加入率（2016年度）



クラブ活動一覧

体育系
陸上競技・バスケットボール・バレーボール・テニス・サッカー・野球・卓球・ホッケー・柔道・剣道・弓道

文化系
天文・ライフサイエンス・地歴研究・数学研究・E.S.S.・放送・吹奏楽・写真・美術・新聞・文芸・カトリック研究・書道・囲碁将棋・電気工学・クイズ研究会・合唱同好会・物理同好会・化学同好会・ボランティア同好会



「生徒には、跳び回ったり走ったりして発散する機会を大いに与えよう。
スポーツ、音楽、発表会、演劇、遠足等は、
規律や道徳、健康のために非常に効果的な手段です」――ドン・ボスコ

ゆとりの空間





新時代の教育にふさわしい
安全で広々とした新校舎

2008年に完成した新校舎は、高い耐震安全性を確保した上で、さまざまな機能をもつ教室・特別室が数多く配置され、生徒たちの快適な学校生活を支えています。教室の前の広い廊下は、生徒たちがクラスの枠をこえて談笑する、ゆとりの空間。明るく開放的な食堂は、早朝や放課後、生徒たちの自習の場に変容します。





浮瀬俳跡 蕉蕪園（うかむせはいせき しょうぶえん）

本校敷地の西端部は、江戸時代に「大坂一」と評されていた料亭「浮瀬亭」の跡地です。「浮瀬亭」には松尾芭蕉、与謝蕪村ら多くの文人墨客が訪れ、その料理と大阪湾の眺めを愛でたといいます。芭蕉は1694（元禄7）年9月、「浮瀬亭」でひらかれた句会に病をおして加わり、2週間後の死を予感しているかのような句を残しました。

此道を　行人なしに　秋の暮れ
松風の　軒をめぐりて　秋くれぬ
此秋は　何で年よる　雲に鳥

大阪星光学院は、1800（寛政12）年の建立以来奇跡的にこの地で保存されつづけた「松風碑」に加え、芭蕉の真跡を写しとって刻した「此道を…」の碑（本校28期生卒業記念として建立）などを配して、小さな庭園を整備しました。今から約30年前のことです。この庭園は、大阪星光学院に凛とした空気を運びこんでくれました。それ以来、重厚で静かな時間が、大阪星光学院の一角で流れつづけています。


1


2

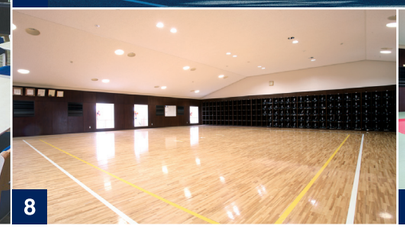

3

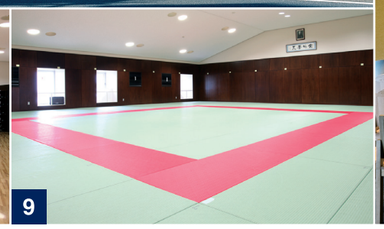

4


5

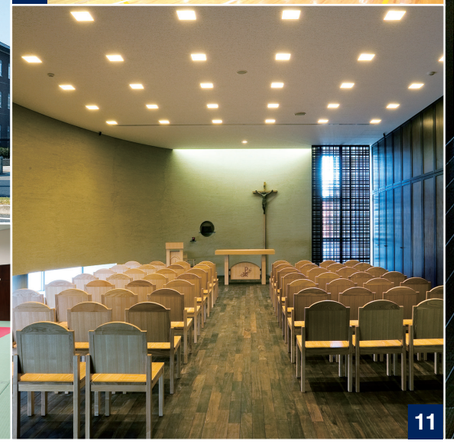

6

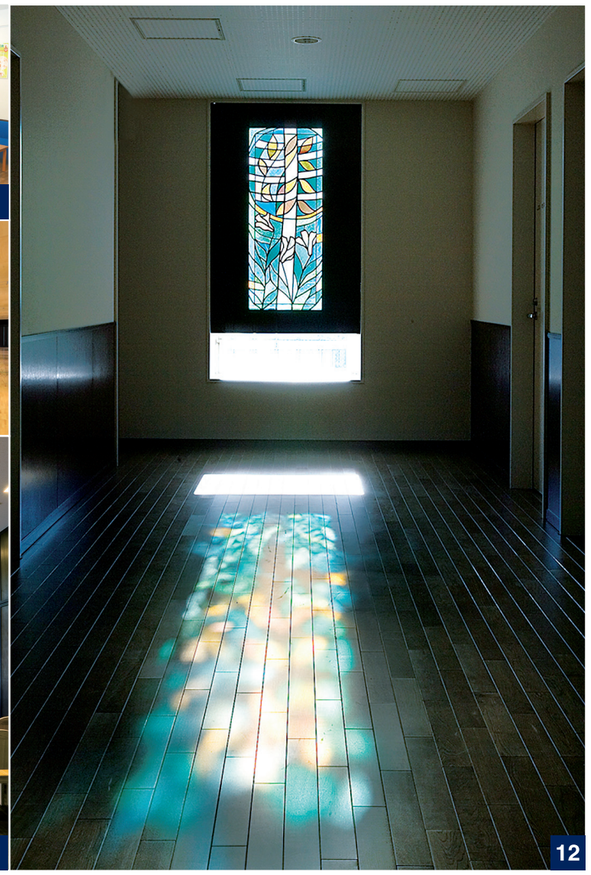

7


8


9


10


11


12

1 食堂　2 PC教室　3 技術科教室　4 教室（中学棟4階）　5 カトリックセンター
6 図書館　7 高校棟外観　8 剣道場　9 柔道場　10 講堂兼体育館　11 聖堂　12 聖トマス小崎研修館

平成 30 年度　大阪星光学院中学校生徒募集要項

募集人員		約190名（連携校特別選抜者を含む）
出願資格		次の（1）および（2）に該当する児童。 （1）平成30年3月に、学校教育法第1条に定められた小学校を卒業見込みの男子。 （2）入学後、保護者宅より通学可能な児童。
出願手続	出願期間	平成29年12月18日（月）0：00 ～ 12月26日（火）23：59
	出願方法	本校ホームページを通じてのインターネット出願のみ。 入学志願書（学校提出用）・受験票は、平成30年1月6日（土）以降にA4普通紙（コピー用紙）にプリントアウトし、それぞれに写真（縦4cm×横3cm）を貼付して試験当日に持参してください。
	受験料	20,000円 お支払いは、クレジットカードまたはコンビニエンスストアをご利用ください。 なお、お支払いには別途手数料が発生します。納入後は返還いたしません。
	受験型の選択	出願時に次の受験型のいずれかを選択してください。 Ⅰ型：4科目型（国語・算数・理科・社会） Ⅱ型：3科目型（国語・算数・理科） ※出願後の変更は認められません。
入学試験	日　時	平成30年1月13日（土） 集合　8：40（開門7：45） 入学志願書回収　9：00　　※上履きをご用意ください。
	科　目	国語（60分・120点）　9：10 ～ 10：10 算数（60分・120点）　10：25 ～ 11：25 理科（40分・80点）　11：40 ～ 12：20 ≪昼食≫　（Ⅰ型受験生のみ） 社会（40分・80点）　13：10 ～ 13：50
	調　査	志望校調査（アンケート方式） ※Ⅰ型受験生は社会終了後、Ⅱ型受験生は理科終了後。
	面　接	遠隔地からの受験生に関しては、志望校調査後に入学後の通学方法についての簡単な面接を行います。
選抜方法		Ⅰ型受験：以下①～③の最高点を受験生の成績とします。 ① 4科目合計点 ② 国語・算数・理科の合計×1.25点 ③ 国語・算数・社会の合計×1.25点 Ⅱ型受験：国語・算数・理科の合計×1.25点を受験生の成績とします。 Ⅰ型・Ⅱ型の区別はせず、いずれも400点満点で判定します。
合格発表	日　時	平成30年1月14日（日）　13：00 ～ 15：00　校内玄関前掲示
入学手続	入学金	300,000円 本校ホームページ「入学手続サイト」にて下記期間中に納入してください。 平成30年1月14日（日）14：00 ～ 1月15日（月）11：00 お支払いは、クレジットカードまたはコンビニエンスストアをご利用ください。 なお、お支払いには別途手数料が発生します。納入後は返還いたしません。
	手続登校	平成30年1月15日（月）15：00 ～ 17：30 本校にて所定の手続と学校指定品購入（約85,000円）の申し込みを行ってください。　※上履きをご用意ください。
入学者登校日	第1回	平成30年1月27日（土） 14：00 講堂 両日とも、本人・保護者がご来校ください。 ※上履きをご用意ください。
	第2回	平成30年2月17日（土） 14：00 講堂
学納金	年　額	授業料　540,000円（4・7・12月に分納） 施設費　60,000円（4・12月に分納） 諸経費　11,000円（各種行事費等） 校友会費　4,800円（生徒協議会費、クラブ活動助成費） 後援会費　26,400円
	その他	学年費、合宿費等
	※授業料等は平成29年度の額です。経済情勢等により変更する場合があります。	
入学手続についての重要なお知らせ		1．入学金納入は、本校ホームページ「入学手続サイト」にて納入期限までに完了してください。 2．入学金のお支払いは、クレジットカードまたはコンビニエンスストアをご利用ください。本校窓口では取り扱うことはできませんのでご注意ください。 3．入学金納入完了後に確認メールを送付いたします。 4．納入された入学金は、いかなる場合も返還することができませんのであらかじめご了承ください。 5．納入期限までに入学金のお支払いがない場合は、入学を辞退されたものとみなします。 6．入学手続きは、入学金を納入されただけでは完了しておりません。必ず登校して手続きしてください。 7．入学手続き後に入学を辞退される方は、「入学辞退届」を送付ください。 8．入力事項に事実と相違がある場合は、入学許可を取り消すことがあります。

中学校入学試験

中学校入学試験概要（平成 27 年～ 29 年）

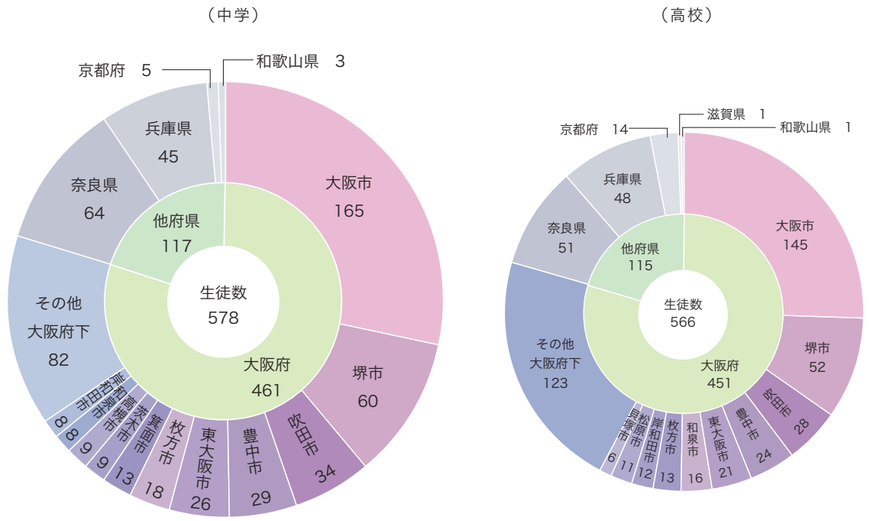
年	入試科目	受験者数	合格者数	入学者数	最高点	合格最低点
平成27	Ⅰ型（4科目）	489	207	188	350	287
	Ⅱ型（3科目）	276	106			
	Ⅰ型・Ⅱ型合計	765	313			
平成28	Ⅰ型（4科目）	532	237	190	358	276.25
	Ⅱ型（3科目）	181	61			
	Ⅰ型・Ⅱ型合計	713	298			
平成29	Ⅰ型（4科目）	479	226	204	366.25	262
	Ⅱ型（3科目）	174	85			
	Ⅰ型・Ⅱ型合計	653	311			

中学校入学試験成績（平成 23 年～ 29 年）

年	国語		社会		算数		理科		総合	
	受	合	受	合	受	合	受	合	受	合
平成23	70.5	76.4	50.9	53.7	74.1	89.3	54.8	59.2	253.3	283.5
平成24	55.6	62.2	57.7	60.6	71.8	84.5	55.5	60.4	237.9	266.8
平成25	74.0	79.5	58.7	62.9	69.5	89.0	55.8	61.9	256.8	293.8
平成26	58.5	65.6	64.2	67.7	73.1	90.4	46.1	51.3	236.7	274.8
平成27	76.4	82.1	59.1	62.1	77.4	95.0	63.0	66.8	275.6	307.7
平成28	76.9	84.2	55.9	59.3	79.7	91.6	51.8	56.5	267.9	297.8
平成29	73.3	79.7	55.0	58.2	72.8	87.4	54.4	60.1	257.6	289.1

受…受験者平均点　合…合格者平均点

生徒居住地分布　〈2017年度〉



平成 30 年度　大阪星光学院高等学校生徒募集要項

募集人員	約10名
出願資格	次の(1)、(2)に該当する生徒。 (1)平成30年3月に中学校を卒業見込み、または既に卒業している男子。 (2)入学後、保護者宅より通学可能な生徒。
受験料	20,000円 1月以降に最寄りの銀行にてお振り込みください。
出願期間	2月1日(木)～2月9日(金)学校受付(2月4日(日)は除きます) 9:00～16:00(土曜日:9:00～13:00) 郵送出願は受け付けていません。
提出書類	入学志願書・副票・受験票・受験料納入票・個人報告書
受験型	専願か併願のいずれか一方を選択してください。
選抜方法	国語(120点)・英語(120点)・数学(120点)・小論文(社会(60点)・理科(60点))の合計480点満点の得点で、 個人報告書と面接の内容を考慮して判定します。
試験日	2月10日(土)　集合8:40(開門8:00) 国語(60分・120点)　9:00～10:00 英語(60分・120点)　10:15～11:15 〈リスニングテスト10分を含む〉 数学(60分・120点)　11:30～12:30 《昼食》 小論文(60分・120点)　13:10～14:10 〈理科分野・社会分野について〉 併願者のみ志望校調査(アンケート方式) 専願者のみ面接(1人約10分)　14:30～ ※上履きをご用意ください。
合格発表	2月11日(日)　10:00～11:00 校内掲示(玄関前) ※合否結果は出身中学へ通知いたします。
入学手続	2月11日(日)　10:00～12:00 入学金(300,000円)は現金をご用意の上、受付で納入し、所定の手続きと、学校指定品購入(約85,000円)の 申し込みをしてください。 ※上履きをご用意ください。
入学者登校日	本人と保護者がご来校ください。 第1回　2月17日(土)　14:30～ 第2回　3月　3日(土)　14:00～ ※上履きをご用意ください。
学納金	《年額》 授業料　540,000円(4・7・12月に分納) 施設費　40,000円(4・12月に分納) 諸経費　11,000円(各種行事費等) 校友会費　4,800円(生徒会費、クラブ活動助成費) 後援会費　26,400円 上記以外に、学年費、合宿費等が必要です。 その他の学債・寄付等は一切ありません。 ※授業料等は平成29年度の額です。経済情勢等により変更する場合があります。

※本校は「大阪府私立高校生等就学支援推進校」の指定を受けています。
※外部各種団体の奨学金制度を利用できます。

アクセスマップ





■JR線　天王寺駅から北へ徒歩約10分
■近鉄　上本町駅から南へ徒歩約15分
■地下鉄　谷町線四天王寺前夕陽ケ丘駅から南へ徒歩約2分
※乗り換え等に要する時間は含みません。

イベント情報

中学入試説明会
2017 年
10 月 **14** 日（土）14：00～
11 月 **11** 日（土）14：00～
場所：5F 講堂

高校入試説明会
2017 年
10 月 **14** 日（土）14：30～
11 月 **11** 日（土）14：30～
場所：中学棟 2F 会議室（予定）

スクールフェア（文化祭）
2017 年
11 月 **3** 日（金・祝）9：00～
場所：本校

◎ スリッパ等の上履き・下足袋をご持参ください。　◎ 駐車場はありませんので、車でのご来校はご遠慮ください。
◎ 予約なしでご入場いただけます。

上町台地・夕陽丘　豊かな緑と由緒ある史跡に囲まれたうるおいの環境――交通アクセスも至便です

伝 藤原家隆の墓
『新古今和歌集』の撰者として知られる藤原家隆は晩年、この地に「夕陽庵」を結んで日想観を修めました。



天王寺七坂
本学院を取り囲むように、緑と静けさに包まれた歴史散歩道がつづきます。古きよき大阪のおもかげをとどめ、散歩する人たちに安らぎを与えています。



愛染坂



口縄坂



愛染堂
現内の多宝塔は大阪市内最古の木造建築物。大阪に夏を告げるといわれる愛染祭りでは、宝恵駕籠が本学院近辺を練り歩きます。

玉出の滝
大阪市内唯一の天然の滝とされ、滝に打たれて行をする人の姿もみられます。本学院周辺は、かつて、名水どころとして有名でした。

四天王寺